

令和4年度 厚生労働省母子保健指導者養成研修 研修3 母子保健施策を通じた児童虐待予防に関する研修

実施要領

1. 研修の目的

母子保健を取り巻く状況は、従来の母子保健が担ってきた役割やその範囲が広がるとともに複雑になってきている。特に、児童虐待予防においては、妊娠期から母子保健担当者が切れ目なく関わることは重要とされ、出生後の新生児訪問や乳幼児健康診査等の母子保健事業と併せて各関係機関とのより一層の連携強化が求められている。日頃から各関係機関と連携して子どもとその家族への支援を行うためには、それぞれの役割を理解しておくことは重要であり、本研修では、各関係機関の保健師等の役割について理解し、日頃から連携を図るとともに児童虐待防止に活かすことを目的とする。

2. 主催者

厚生労働省（実施団体：株式会社日本総合研究所）

3. 対象者

- ・都道府県・市区町村母子保健担当者及び児童福祉担当者
- ・児童相談所保健師
- ・性と健康の相談センター事業*担当者及び自治体の委託を受けている事業実施施設職員
※女性健康支援センター事業や不妊相談センター事業を組み替えたもの

4. 実施形態

ライブ配信形式とオンデマンド配信形式で実施する。

1) ライブ配信形式

- ・オンライン（Zoom）での実施とし、50名の参加者を募集する。
- ・行政説明、講義、事例発表の様子をリアルタイムで配信するとともに、ブレイクアウトルーム機能を利用してグループワークを行う。

2) オンデマンド配信形式

- ・ライブ配信時に撮影した映像を編集し、特設サイトにおいて配信する。
※グループワークはオンデマンド配信には含まない。

5. 実施日時及び配信期間

- ・ライブ配信日時：令和4年10月24日（月）
- ・オンデマンド配信期間：令和4年11月7日（月）～12月6日（火）

6. ライブ配信プログラム

	研修プログラム	講師	時間	プログラムの内容
①	行政説明 母子保健行政の動向	厚生労働省 子ども家庭局 母子保健課	9:30～ 10:00	最近の母子保健行政の動向
②	講義 妊娠期からの児童虐待 待予防の取組	あいち小児保健医療総 合センター 山崎 嘉久 氏	10:05～ 11:05	妊娠期のアセスメント（アセスメントシートの 紹介と活用を含む）とハイリスク妊婦・特定妊 婦への支援について
③	講義 児童相談所保健師の 役割と市町村母子保 健担当との連携	神奈川県小田原児童相 談所 山本 恵子 氏	11:10～ 12:10	児童相談所保健師の役割と実際、市町村の母子 保健担当者との連携について（特定妊婦（要対 協での連携）や出生後の支援についての事例、 担当者会等の取組も含む）
④	事例紹介 性と健康の相談セン ターにおける特定妊 婦支援の実際	NPO法人 MCサポー トセンターみっくみえ 松岡 典子 氏	13:00～ 13:30	性と健康の相談センター事業での特定妊婦支 援に重点を置いた相談から支援の事例紹介
⑤	事例紹介 地域における母子保 健と児童福祉部門と の連携	大阪府高槻市 子ども未来部 子ども保健課 副主幹 山下 典子 氏	13:35～ 14:05	大阪府高槻市における母子保健と児童福祉の 連携（母子保健の視点から）について
⑥	事例紹介 児童虐待対応医療ネ ットワーク事業の紹 介	埼玉県立小児医療セン ター 地域連携・相談支援セン ター 紫藤 直美 氏	14:10～ 14:40	埼玉県における児童虐待対応医療ネットワー ク事業の概要と関係機関との連携事例の紹介
⑦	グループワーク ハイリスク母子への 対応及び母子保健と 児童福祉部門の連携 の実際	（ファシリテーター） 大阪公立大学大学院 横山 美江 氏	14:50～ 16:50	母子保健活動の中で関わりが難しいハイリス ク母子への対応の課題や母子保健と児童福祉 部門の連携の実際について検討。連携して上手 く対応できた例の共有、困難を感じる点、今後 その課題をどのように解決するかグループワ ークを実施

※ライブ配信のみグループワークを実施。オンデマンド配信では、①～⑥までを編集し配信。

※当日、質疑応答は行いません。